

2025年

相模女子大学 学芸学部 日本語日本文学科



ニチブンのかわらばん



1～4年生

日本語学校との交流会

日本語教育の入り口となる授業「日本語教育入門」に、近隣の日本語学校（相模国際学院）の学習者の皆さんが参加してくれました。相模国際学院ではスリランカ、ネパール、ベトナムなどさまざまな国から来た留学生が日本語を学んでいます。

2回の交流会では、初級、中級の学習者が各回20名ほど参加し、大学生と3人1組で、「国の食べ物」や「夏休みのおすすめのイベント」などを話しました。学習者の皆さんは「日本人とこんなにたくさん話したのは初めて！」「とても楽しかった！」と笑顔で言ってくれました。大学生にとっても、学習者が日本語を頑張っている姿を体感できる、貴重な経験となりました。

（2025年5月12日、6月2日）



2年生

ケーキ・パーティを開きました

ニチブンでは、各学年のクラスやゼミ単位で「クラス会（食事会）」を開き、担任の教員や学生同士の親睦を深める機会があります。

今年度の2年生のクラス会は、7号館ラウンジでケーキ・パーティを開きました。見た目も鮮やかなおいしいケーキとお茶をいただきながら、普段なかなか話す機会がないクラス担任や同級生らと、なごやかな時間を過ごすことができました。

（2025年6月3日）



2年生

キャリア講演会を開催しました

ニチブンでは学科独自のキャリア支援として、職員や卒業生による講演会を行っています。今回の講演会では、就職活動の流れや就職課の支援などの説明の他、若手職員によるセッションでは各自の経験をもとに、学生時代にやっておくべきことなどが具体的に話されました。多くの2年生が参加し、熱心に耳を傾けていました。

（2025年7月1日）



日文資料室

（10号館2階）



専門書が充実している他、日文卒業生のスタッフが常駐しており、学生の強い味方となっています。

【企画・編集】日本語日本文学科・広報担当

所在地：〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1

相模女子大学10号館 日文資料室

mail（お問い合わせ）：nichibun10@mail2.sagami-wu.ac.jp

web：https://sagami-nichibun.jp



ニチブンで学ぶことのできる10分野を担当する専任教員からのメッセージを紹介します。みなさんの学びたい分野や教員を選ぶ際の参考にしてください。

日本古典文学

全時代・全分野の専門教員を揃えているので(平安時代だけで2人！全国有数！)、細大漏らさぬ科目群を置いています。大学は先生も好きなことを授業にできるので古文ってオモロイやん！となってくれるよう準備して皆様をお待ちしています！

(担当教員：山田純[上代]・後藤幸良[中古]・武田早苗[中古]・高木信[中世] *時代順)

日本近現代文学

近現代文学は個性的で多彩な作家、作品の巨大な集合です。誰もが知る近代作家の代表作を学ぶだけでなく、ときには聞いたこともない現代作家の作品にも触れながら自分の興味や世界をおおきく開いてほしいと思います。

(担当教員：南明日香・山口徹・藤田佑)

中国古典文学

中国古典文学の授業では、書き下しや句法の理解だけでなく、漢字一文字一文字が繋がることで、どのような意味になるのかを考えていきます。漢文を学ぶとは、日頃使っている文字を問い直すこと、自分がどのような世界で生きてきたのかを見つめ直す一歩にもなります。授業を通して、一緒に漢字と漢文の新たな一面を探す旅に出してみましょう。

(担当教員：加納留美子)

日本語学

私たちにとって最も身近な言葉である日本語。その日本語に対してゆっくりと向き合い、しっかりと考えるための授業を、日本語教育との連携も意識して取り揃えました。皆さんの日本語力をさらに輝くものにしてみませんか。

(担当教員：梅林博人・永谷直子 *50音順)

日本語教育学

日本国内にも、海外にも日本語を学んでいる人は大勢います。彼らにとって日本語はどのような言語でしょうか。大学の周辺地域で日本語を学ぶ学習者と交流しながら、どのような日本語を、どのように教えたらいいか、考えていきます。

(担当教員：永谷直子)

10分野の履修モデル



現代文化

現代文化・コンテンツの研究は「社会学」が主流です。けど、それを見たら皆様が期待するのと「違うなあ」ってなるとおもいます。ニチブンで置いている科目こそ「これ、これだ」ってなるとおもいます。「現代文化入門」から始まりますので、そこで待っています！

(担当教員：高木信・藤田佑・山田純 *50音順)

書道

書道の実技と理論を1年生から段階的に学びます。実用書道や校外研修の科目が今回新設されました。国語や書道の教員免許が取得でき、初心者からでも書道の実践能力を身に付けることができます。

(担当教員：下田章平)

図書館情報学

資格取得が目的の司書課程では実務的な学びや実習が中心ですが、日文の専門科目としての図書館情報学では図書館のサービスや施設、専門職員、利用者、運営者、資料など、図書館について様々な観点から学び研究していきます。(担当教員：宮原志津子)

司書課程で学ぶさまざまなことの土台となっている学問分野が図書館情報学です。具体的には、図書館を研究対象とする従来の図書館学と、図書館に限らず広く情報の生成、蓄積、利用を研究する情報学が融合して誕生しました。(担当教員：金井喜一郎)

教職

人に教えるためには、教師自身で、その教材の魅力をも十分に知っている必要があります。「教材特講」「国語教員能力養成講座」「国語科教育法」などで、教材の面白さ、正確な知識、教えるための実践力を学びます。(担当教員：藤田佑)

もっと詳しく知りたい方のために、各分野を紹介するパンフレットをご用意しています。日文資料室やオープンキャンパスで配布中です。

